

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

地域とともに生き、広く社会の発展に貢献する

売上高
1,300億円以上経常利益
80億円以上ROE
6.0%以上ROE
8.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. 収益基盤の拡充

自動車部品関連の取扱拡大、医療・介護用食品専用センター稼働、北海道・三重県の新物流センター開設、半導体関連商材の拠点整備

2. グループ経営基盤強化

フォワーディング競争力強化、タイ新倉庫活用、グローバル物流ネットワーク拡充、四日市港コンテナ岸壁拡張、モーダルシフト推進

3. 業務効率化と生産性向上

フォワーディングシステム展開、倉庫管理システム機能向上、自動化など最新技術導入、BPR推進

4. ESG・サステナビリティ推進

GHG排出削減、太陽光発電導入、四日市港カーボンニュートラルポート実現、防災・BCP充実

③ 対処すべき課題

① 物流業界の構造的課題

- ・ 人手不足への対応
- ・ 運行制約への対応
- ・ 為替変動・地政学的リスク対応

② 経営環境の不確実性

- ・ 原材料価格の高止まり
- ・ 米国政府動向の不確実性
- ・ 輸出入貨物の不確実性

③ グローバル展開強化

- ・ 海外代理店ネットワーク拡充
- ・ 海外拠点の物流機能強化
- ・ 新拠点の調査検討実施

面接で使えるポイント

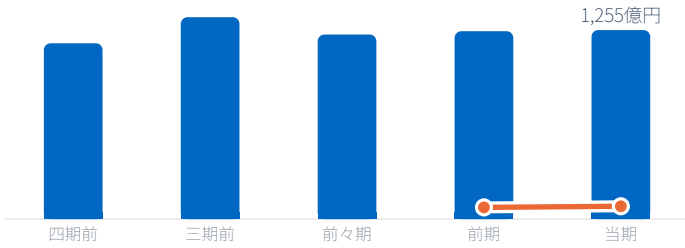
- ・ 『Grow with the Next Value』スローガンの下…
- ・ 北海道石狩市・三重県木曽岬の新物流センター、タイ新倉庫など戦略的な施設投資で事業基盤を強化
- ・ 2025年度売上1,300億円以上・経常利益80億円以上の目標達成に向け、収益性改善と地域貢献を両立

日本トランスシティ株式会社

倉庫・運輸関連業 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31…

証券コード 9310

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
三重県四日市市に本社を置く総合物流企業

主力事業・セグメント

・倉庫・運輸関連業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・連結売上高1,255億円の事業規模

・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
1,255億円

営業利益率
6.8%

財務健康度
48点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 55.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
734万円

倉庫・運輸関連業内 8位/31社

平均年齢
40.6歳

倉庫・運輸関連業内 22位/31社

平均勤続
15.7年

倉庫・運輸関連業内 17位/31社

女性管理職
2.6%

倉庫・運輸関連業内 22位/26社

男性育休
67.0%

倉庫・運輸関連業内 12位/24社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日本トランスシティ株式会社、自動フォークリフト「AutoFo

日本トランスシティ株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

